

ぼんどう

8

坂東交差点立体化により交通渋滞が緩和

ぼんどう

平成28年3月19日に立体化した国道8号坂東交差点の交通状況と主な整備効果をお知らせします。

【交通状況と主な整備効果】

慢性的な渋滞が緩和し、円滑な走行を確保

立体化後の交通状況を調査した結果、平面交差点で発生していた最大600mの渋滞が解消しました。

【事業概要図】

国道8号
坂東交差点立体



※ 整備効果と事業概要の詳細は次頁以降に記載しています。

お問い合わせ先

■ 調査第二課長

あめたに たくや
鈴木 卓也

TEL : 076-443-4717 (直通)

FAX : 076-443-4718



パレットとやま

国土交通省 北陸地方整備局

富山河川国道事務所 Tel:076-443-4701(代)

〒930-0837 富山市奥田新町2番1号 <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

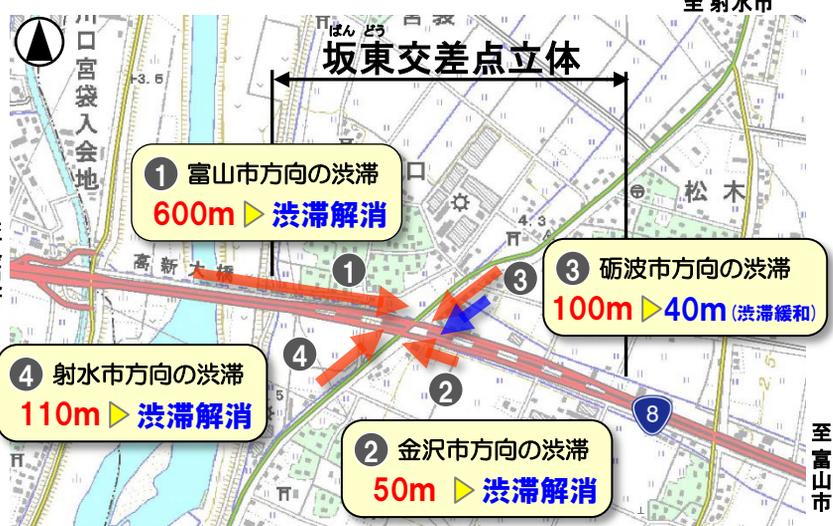
坂東交差点立体開通による効果

慢性的な渋滞が緩和し、円滑な走行を確保

- ・坂東交差点の交通量が約72%減少し、朝夕ピーク時を中心に発生していた慢性的な渋滞が緩和しました。
- ・円滑な走行が確保されたことにより、その他の路線から交通が転換しました。

【交差点立体化による渋滞状況の変化】

● 朝ピーク(7時～9時)の渋滞状況



● 立体化前の渋滞状況

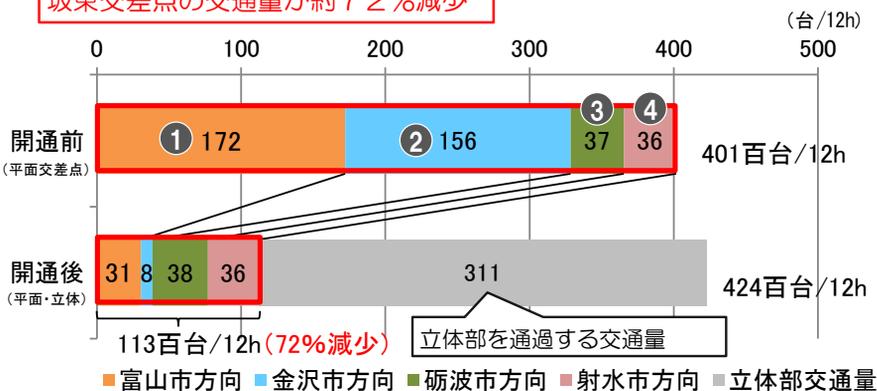


● 立体化後の渋滞状況



● 坂東交差点(平面部・立体部)を通過する交通量の変化

坂東交差点の交通量が約72%減少



【庄川断面交通量の変化】

国道8号高新大橋に交通が転換



● 庄川断面計測位置図



◆ **事業目的**

◎ 交通渋滞の解消

◎ 幹線ネットワークの充実強化

◆ **事業概要**

- 坂東交差点立体化事業は、地域高規格道路富山高岡連絡道路のうち、射水市沖塚原～同市川口間延長1.1kmを立体化(高架化)する事業です。
- 一般国道8号は、富山市と高岡市を結ぶ重要幹線道路で県内随一の交通量となっており、近年の著しい交通量の増加に伴い、坂東交差点が主要渋滞箇所指定されています。
- 慢性的な渋滞を解消し、交通機能の向上や安全性確保の観点からも、早急な整備が求められていました。

富山高岡バイパス 延長:24.8km



◆ **計画諸元と事業経緯**

事業区間	射水市沖塚原～射水市川口		
延長	L=1.1km (4車線)		
道路の区分	第3種1級		
設計速度	80km/h		
道路幅員	本線部	21.0m (2.0+7.0+0.5+2.0+0.5+7.0+2.0)	
	ランプ部	9.5m (0.75+3.25+2.0+3.5)	
事業着手	平成18年度	都市計画変更	平成18年度



坂東交差点の交通状況(立体化前)

◆ **標準断面図**

